

令和6年度大谷場中学校だより



おおやば

第10号

令和7年1月31日(金)発行

学校教育目標

「より高く、より広く、より深く、より強く」

さいたま市立大谷場中学校

〒336-0016 さいたま市南区大谷場2-13-54

TEL : 048-882-9962 FAX : 048-811-1336

WEB : <https://oyaba-j@saitama-city.ed.jp/>

MAIL : oyaba-j@saitama-city.ed.jp

学校WEBページ
QRコード



置かれた場所で咲きなさい

校長 やさか かずのり
八坂 和典

新年のあいさつを交わしてから、「あっ」という間に2月となってしまいました。「時は金なり」というように毎日を大切に過ごし、目標に向かって進んでほしいと思います。3年生は1月22日より私立高校の受験が始まり、公立高校の受験に向けて準備が始まります。クラスには、第1希望を合格し進路が決定した者もいれば、これから受験(受検)する者がいます。「受験(受検)は団体戦」というように3年生全員が進路決定するように力を合わせ、助け合いながら受験(受検)を乗り越えてください。2年生は2月3日より館岩自然の教室での宿泊学習を行います。宿泊学習では集団生活を通して、参加した全員が充実した、よき思い出となる学習とするために、集団生活での一人ひとりの考え方や行動の仕方が重要となります。この学習を通して、青学年の団結力が深まり、青学年生徒一人ひとりが大きく成長し、最上級生となるための自覚と自信を培い、学校に帰ってきてほしいと思っています。1年生は2月19日に東京へ校外学習に出かけます。中学校に入って初めての校外学習、仲間との関係を深め、赤学年一人ひとりが成長できる、また、仲間との絆が深まる学習となることを期待しています。8組は1月24日～26日まで武蔵浦和コミュニティセンターでさいたま市南区特別支援教育作品展が行われ参加しました。8組の生徒がこれまで一生懸命に作ってきた作品を展示し、さらに長い時間をかけて作った物を多くの来場者に販売するなど、頑張っていました。このように大谷場中学校生徒一人ひとりには卒業・進級に向けて一生懸命に頑張っています。

さて、12月、1月は多くのスポーツの全国大会が行われました。高校ではサッカー、バレー、バスケットボール、駅伝など、大学でも箱根駅伝や大学ラグビーなどその試合をテレビ等で目にすることが沢山ありました。プロの世界とは違い、高校や大学では限られた時間の中で、仲間とともに夢や野望を持ち、目標に向かって一生懸命に戦う姿は多くの人々に感動を与えます。私は高校や大学の試合をテレビ等で目にするたびにここに出るために大変な努力をし、頑張ってきた選手の姿を想像すると目頭が熱くなります。ですが最近ではさらに目頭が熱くなるシーンがあります。それは残念ながら選手としてピッチやコートに入れなかったり、走りたくても走れない生徒や学生がいろいろな葛藤がありながらも、懸命に選手を応援したり、サポートしている姿を目にするときです。全国サッカー選手権ではチームによっては200名近い部員の中、ベンチに入れるのは20名程度、毎日、同じ環境で一生懸命努力し、汗水を垂らしてきたその他大勢の生徒は観客席から声を振り絞り、選手を鼓舞しています。箱根駅伝では走れる学生は10名、出場できない学生は選手のサポートや給水時の飲み物の受け渡しなど、どの競技においても選手として出場できない生徒や学生がいます。「どんな気持ちで出場している選手を応援しているのだろう。本当は自分が出たかったらうな。」そんな気持ちを想像すると涙が出てきます。そんな気持ちを想像していた時に全国サッカー選手権のテレビのインタビューで応援席の選手がこんなことを語っていました。「自分の仲間がピッチで頑張っていますがどうですか?」「自分もこのピッチに立つことを夢見て、3年間頑張ってきました。正直このピッチに立てないことはとても悔しいことですが、今自分にできることはこのチームとして1試合でも多く、試合をやってもらうために大きな声で応援し、自分たちの分も選手に頑張ってもらうことです。」と潔くインタビューに答えていました。この生徒の話聞いたとき、とても感動しました。そして、自立した素晴らしい青年だとも思いました。それと同時にある言葉を思い出しました。それは修道者の渡辺和子さんの「置かれた場所で咲きなさい」という言葉です。渡辺和子さんの紹介はまた今度にしますが、この言葉の意味を私は次のように解釈しています。「周りの環境を言い訳にせず、自分にできる努力を続けよう。苦しくても、つらくても、今花を咲かせられなくてもいつか咲く花のために、希望を持ち続け、今できることを一生懸命にやっつけよう。」大谷場中学校の生徒の皆さん、苦しいことや困難なことがあっても諦めず、希望を持ち、今できることを全力で頑張ってもらいたいと思っています。3年生は自己の進路を決める大切な時、今置かれている環境や状況の中で、自分を信じ一生懸命に頑張ってくれることを期待しています。また、自分の進路先が第1希望でなかったとしても「置かれた場所で花を咲かせる」といった気持ちで前を向くことで、必ず、自分自身の幸せな大輪を咲かせることができます。結果を恐れず全力で、頑張ってもらいたいと思います。

来月には、中学校で最も大切な行事である卒業式が挙行されます。この学び舎を巣立つ3学年生徒がこの進路という大きな壁を強く、たくましく乗り越えた姿を多くの人に見てもらえることを楽しみにしています。